

社協だより4月号【Vol.84】

元気がわら版

●発行日:平成24年4月20日
●発行:社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会 庄原市西本町四丁目5番26号
●TEL0824-72-7120 ●FAX0824-75-0084 ●E-mail:info@shakyoshobara-city.or.jp



- 目次 P1..... 総領行事
P2..... 会長あいさつ、役員・評議員体制
P3..... 平成24年度事業計画・予算
P4~P6.. 元気報告、介護ものしりコーナー
P7..... 平成23年度おでかけ応援隊協力寄付一覧
P8..... よろづ相談、地域や団体の福祉応援事業のお知らせ
東日本大震災義援金、協力寄付
P9..... 寄付金受付
P10..... 地域のものがたり、広告

Shakyo

元気を増やそう

総領発【元気向上委員会】より



「元気の秘訣はですか?」と尋ねると
「人との交流」「前向きな姿勢」
「野菜作り・動物とのふれあい」
「マイペース・自分らしさ」などの答えが返りました。
恒例となった【総領地域!元気向上委員会】に135人が集い、
元気が増え、笑顔が増え、支え合い意識が増えました。



70の手習いなんのその
手品で大爆笑



貴重な体験談を披露



体験や発表も良かったし、久々に
会う知人とのお喋りも楽しかった



総領診療所医師の講演に「タメになる!」



体操でリフレッシュ

今、庄原市の地域福祉は！



平成24年度を迎えるにあたって

庄原市社会福祉協議会

会長 山内 文雄

「今やえよければ、自分さえよければ」、今の社会、このような風潮がまかり通つていのうにも思えます。「孤立死」や「無縁社会」という言葉に象徴されるように「家族」や「地域」における人つながりの希薄化による、様々な症状が都市部を中心に発生しています。

私たちの庄原はどうでしょうか。典型的な中山間地である庄原市の現状は、若者が古里を離れ、地域の中心的な役割を担つてきました。高齢化が進み、併せて急激な少子化で明日の庄原を担う世代の減少など大変厳しいものがあります。

このような中で地域の暮らしは、買い物や通院の交通手段、医療や介護ニーズ、災害時を含めた見守り等の支援体制など様々な課題が発生しています。

*ふるさと庄原を大切に思っていますか？
 *住んでいてよかつたと感じていますか？
 *子どもたちに誇れるふるさとですか？

このような諸課題は、今までのようないい處をもつと素敵に公的な福祉制度のみでは解決が困難になつています。家族はもとより地域住民、地域団体、行政等が自立し、連携し、お互いに助け合い支えあう仕組みづくりが求められています。いわゆる「自助・共助の仕組みづくり」です。

これは、先日開催されたある地域の「福祉のつどい」のテーマです。庄原の未来を背負つていく子どもたちが、「この地に住みたい」と言つてくれるようなら、それは私たちの責務だと思ってお。庄原市は、「の4月から地域の自立を目指した「まちづくり基本条例」をスタートさせました。

私たちには、住み慣れた我が家や地域で安心して暮しながら、お互いが気にならぬ支え合い、喜びと生きがいを感じながら暮らせることのうな「福祉のまちづくり」をめざしたいと思います。

平成24年4月1日現在の役員、評議員体制

執行機関である理事会、議決機関である評議員会、運営全般を監査する監事會をもって、24年度社協活動を推進して参ります。

本年度もご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

<理事 13名>

会長 山内 文雄(学識経験者・宮内町)
 副会長 前田 正人(学識経験者・高野町)
 副会長 竹島 靖明(学識経験者・西城町)
 副会長 田邊 恒治(地域組織・東城町)
 永井 忠司(地域組織・宮内町)
 住田 鉄也(福祉団体・川北町)
 森田 一宜(福祉団体・比和町)
 佐藤 浩子(地域組織・本町)
 八谷 文策(福祉施設・川北町)
 伊ノ木健治(福祉団体・東城町)
 原 四朗(地域組織・口和町)
 奥田 順紀(地域組織・比和町)
 秋山 義治(地域組織・総領町)

<監事 3名>

松村 修治(学識経験者・山内町)
 山本 伸昭(学識経験者・西城町)
 三吉 龍次(学識経験者・口和町)

<評議員 27名>

平木 幸夫(地域組織・東城町)
 勢村 生美(福祉団体・総領町)
 藤田 和弘(福祉団体・平和町)
 竹本 健三(地域組織・本町)
 宮本 英暉(地域組織・高町)
 増田 省三(地域組織・上谷町)
 植木 登夫(地域組織・春田町)
 東 登美夫(地域組織・板橋町)
 東 泰治(地域組織・上原町)
 萩原 元樹(地域組織・山内町)
 糸谷 和恵(地域組織・濁川町)
 紙川 光志(学識経験者・西城町)
 伊達 初恵(地域代表・西城町)
 比原 一夫(地域代表・西城町)
 村上 聖子(学識経験者・東城町)
 赤木 壽子(学識経験者・東城町)
 中島 好昭(学識経験者・東城町)
 高柴 和哲(地域代表・東城町)
 若林 元美(地域代表・東城町)
 三上 喜啓(地域代表・口和町)
 栗田 正暁(学識経験者・口和町)
 加藤 寛(地域代表・高野町)
 升原 敬(学識経験者・高野町)
 畑谷 美秀(学識経験者・比和町)
 富田ひろ子(地域代表・比和町)
 澤 由妙(学識経験者・総領町)
 藤野富美代(地域代表・総領町)



また、集まろうや！

フライングディスク交流会を開催しました。はじめての方も、久しぶりに参加された方も、投げ方を教えてもらってチャレンジ！

「あーあしい。もっと上を狙って」「手首を使って投げた方がいいよ」と声をかけ合いながら、的を狙いました。いつのまにかディスクを拾い集めてくれる人、投げやすいようにディスクを手渡す人、応援する人、それぞれに役割ができていきました。

参加された方は「みんなで応援しあって、大きな声で笑った」「楽しかったし、次は誰か誘ってみよう」などと感想をいただきました。だれとでも一緒に楽しみ、新しい出会いやつながりの場となるよう広めていきたいと思います。

また、社協ではフライングディスクの貸出も行っていますので、地域での集まりなどにご活用ください。



みんなが楽しく、主役のふれあいサロン活動



歩いて参加できる小地域の『ふれあいサロン活動』を、地域の世話人の方々と共に取り組んでいます。

東城地域の“ふれあいサロン活動・世話人交流会”(参加者26名)では、グループ毎に活動内容を中心に情報交換をしていただきました。

各地区サロンの世話人さんたちが集まるのは年に一度ですが、話が途切れることなく時間が過ぎました。「集まる場所までが遠い」「男性の参加が少ない」「お互いが、ちょっとした事でも声を掛け合う関係になってきた」「ふれあいサロンに多くの方々が関わってもらいたい」と、感想やこれから抱負を語っていただきました。

また、記憶力(漢字)・発想力(図形や絵など)を試す脳トレーニングのゲームを楽しみました。地元のサロンで活用してくださいね。



優しく声をかけるよ！

口北小学校5・6年生(9人)の総合学習の授業に声をかけていただき、認知症キャラバンメイトが訪問し“認知症”について学習しました。

認知症は脳の病気であること、忘れて同じことを何度も聞いたりするが、「悲しい」や「嬉しい」など感情はみんなと同じであることなど、正しい理解と対応について紙芝居を使い学びました。

児童からは、「高齢者に優しく接したい」「薬も大切だけど、私たちの接し方で症状が随分と違ってくることが分りました」など嬉しい感想が聞かれました。たとえ認知症になっても安心して暮らせる地域になるために、多くの人が認知症を正しく理解し対応することが大切です。

地域センターでは小地域での会合などにも出かけていきます。「気軽に声をかけてくださいね！」





高野地域センター

0824-86-3044

最後に、みんなが1本でつながったよ



卒業を前に、高野小学校18名が社協・福祉センターについての勉強と、世代間交流で“笑話サロン”的あばあちゃんたちと長巻き寿司に挑戦。

一人ひとりが勝手な行動をしてはつながらない巻き寿司。



みんな心と手先を一つにして、「いくよー！せーの」で巻き寿司をくるつ。1本に繋がった巻き寿司の長さは、6m90cm。

1本丸かじりした子どもたちからは、「うま～い」の声。

「事前に練習したんよ。成功して良かった」とあばあちゃんたち。

「子どもたちの心を一つにし、長巻き寿司を作ることができ、卒業を前にいい思い出ができました」と、先生。“みんな笑顔”これから、それぞれの道を歩みますが、いつまでも18人の心は固く繋がっていて欲しいと願っています。



比和地域センター

0824-85-2300

比和は笑顔の美人どころ!!

日頃から比和地域で活躍されているサロン世話人さんやボランティアの方に、「ちょっとした息抜きと合わせて、役立つ研修会を」と考え、3月13日、ボランティアスキルアップ研修会を市役所比和支所と共に開催しました。内容は活動に役立つレクリエーションです。

「笑顔と笑いが一番大切！」という事で、サロンなどで役立つ指遊びや運動を楽しく行いながら、講師に教えてもらいました。

最初はちょっと堅い表情だったみなさんも、最後には笑顔で帰られたので、少しはストレス解消になったかな？と思います。

研修で教わった笑顔を、今度はみなさんが地域で実践していくだけよう、社協もお手伝いしますので、これからもたくさんの方の「笑顔」をよろしくお願いします。



ゆめのいえ

0824-85-7031

安芸津で餅つき交流！たくさんの出会いがありました



3月23日、ゆめの家通所者、ボランティア、社協職員、総勢10名で、東広島市安芸津町の自立支援センター“つばさ”に、増築完成のお祝いイベントとして、お餅つきに出かけて来ました。

比和はまだ雪が残っていますが、安芸津は暖かな瀬戸内海沿い。潮風を感じながら通所者・センターの皆さん、地域の方々と一緒に「よいしょ！よいしょ！」と声を掛け合いながらついたり、こねたり、たくさんの方々と楽しい時間を過ごしました。「比和のお餅は美味しいね！柔らかいね！」と笑顔と喜びの声を聞いた時、自分たちの役割や出番があったことを感じることができた一日となりました。

自分たちの地域でも、役割や出番をもっと見つけて、地域に貢献できる「ゆめのいえ」をめざしていきたいと思います。(安芸津の皆さん、機会がありましたら比和にもぜひ来てください。)



会うは笑いの始まり

出かける事が少なくなる時期は、いつも以上にサロンが楽しみ。家でこたつとテレビの守りをしていても楽しくありません。人と出会い、喋り、笑う事で、心が弾み、命が膨らみます。

人との交流の時間を積極的に作りましょう。ちょっとしたことですが、自分が元気になります。相手を元気にしてあげられます。

サロンは堅苦しいものでも面倒なものではありません。近所の数名で定期的に寄り合い、お茶を飲んだりお喋りしたりして過ごすだけで良いのです。世話人の役目は、社協との連絡係程度。「そういえば最近、近所で集まってワアワア言う事がないねえ。サロン、やってみようよ」と気の合うご近所さんに声をかけてみませんか？



また会おうね!!

～庄原中クリーン大作戦☆with大黒サロン&喜楽サロン～



昨年から庄原中学校の呼びかけで、中学校周辺のサロンと共同で美化活動を行っています。

今回は、“クリーン大作戦”と題して、生徒とサロンメンバーの混合グループで、一斉に中学校周辺のゴミ拾いです。足下に目を向けると、側溝のグレーチングの隙間から見えるカラフルな色。「よし！わしが持ち上げとくけえ、ゴミを拾ってくれんか？」と地域の方の呼びかけに、「はい!!」と素早く対応する中学生。見事な連携でグレーチングをはぐると、ゴミが次々と出てきました。「見えない所に目を向けると、ゴミがたくさんあるね」「見過ごさずに、ゴミがあつたら拾あう」と会話も弾み、活動後は「また会おうね!!」と、清々しい表情で解散しました。

後日生徒から、「地域の方々とふれあい、貴重な体験ができました。今後も、このような交流を通して、継続的に地域つながりを深め、学ぶ場とさせていただきます」とお手紙をいただきました。一つひとつの出会いや経験を通して、声かけや顔見知りが増え、より安心して暮らせる地域になっていくことでしょう。

介護もの知りコーナー

入浴は安全に出来ていますか？

ぽかぽか陽気のこの頃ですが、花冷えが訪れるのもこの頃です。朝夕の冷え込みは思った以上に厳しい時があります。もう少しの間は、温度差による心臓への負担や、湯冷めによる風邪などに気をつけましょう。入浴時の事故はいろいろな場面で多いものです。入浴前・入浴後のケアが大切になってきます。

- 寒いからといって浴水温を高くしていませんか？
 - 脱衣場（洗面所）は寒くありませんか？
 - 補助具をつけて安全に入浴していますか？（手すり・入浴台等）
 - 一般的に湯温は38度～40度が理想的とされています。
 - 室温は22度が適温とされていますが、脱衣場（洗面所）も同等の温度に設定して入浴することをお勧めします。
 - 入浴は意外に体内水分が減少しやすいので、入浴前後には水分補給も忘れずに…
- ちょっとした気配りで安全な入浴が出来るので試してみてはいかがでしょう。





市民活動・お互い様の活動を応援します

地域や団体の 福祉応援事業のご案内

地域の団体や民間福祉団体、グループが行う、地域の福祉課題解決に向けたボランティア



活動、交流事業、啓発事業を対象に1事業(1団体)につき3万円を上限に規模、内容、必要性を考慮し助成額を決定します。

[申請期間] 平成24年4月~12月末まで。

[予 算] 共同募金配分金を財源に、事業費総額100万円を予算としています。

[助 成 枠] 予算内で可能な限り対応します。

[申請方法] 総合センターおよび各地域センターにある申請様式で申し込みください。詳しくは事前に最寄りの地域センターにお問い合わせください。

[そ の 他] 広報紙で助成団体の活動を報告させていただくことがありますのでご了承ください。

東日本大震災義援金

24年3月末までの義援金受付総額

88,454,620円

※左記の内82,804,648円は市本庁・支所窓口受付分です。
義援金は日本赤十字社を通じ被災地へ送金されています。



よろず相談の ご案内

○一般相談 (13:30~15:30)

毎週水曜日 庄原地域センター

第1・第3木曜日 西城地域センター

東城地域センター

比和地域センター

口和地域センター

高野地域センター

総領地域センター

(9:00~11:00)

○法律相談 ※予約制でお一人の相談時間が30分以内です。

・5月 2日(水)・18日(金) (13:00~16:00)

庄原市ふれあいセンター

・5月10日(木) (13:00~16:00)

東城ふれあいセンター

○多重債務相談 ※予約制でお一人の相談時間が45分以内です。

毎月第2木曜日 (13:00~16:00)

○ブライダルサポートセンター(結婚相談)

毎週月曜日・第1日曜日 (14:00~16:00)

庄原市ふれあいセンター

その他の相談にも応じています。お近くの地域センターにお問い合わせください。

市民レポーターが行く



地域のものがたり

おたがいさまの地域作り

高野地域センター



上高自治振興区長
井上清憲さん



下高自治振興区長
後藤信房さん

昨年後半から、高野地域では、市の補助事業を活用して、「困ったときはおたがいさま」の気持ちで助け合うことにより、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる地域づくりを目的として、「高野地域おたがいさまネット事業」に取り組んでいます。

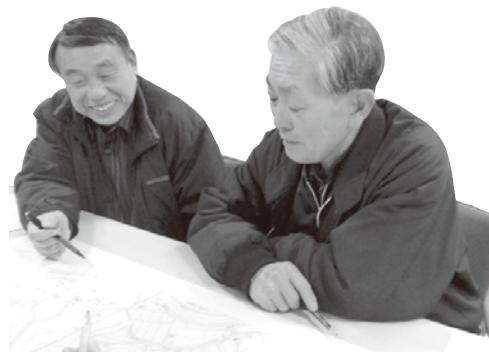
この事業を進めるにあたり、地域の皆様の声を聞かせて頂きたいと、65才以上の独居世帯、70才以上の高齢者の聞き取り調査を行い、地域の方の声を基に上高自治振興区、下高自治振興区、民生児童委員、老人会等を中心に地域住民の協力を得ながら、地域見守り活動の仕組みづくりを進めています。

支え合いの地域づくりを効果的に進める為に、見守り活動の先進地である岡山県津山市への視察、また、庄原市山内自治振興区の方をお招きし「山内おたがいさまネット」の実施状況や報告をお伺いする研修会を実施しました。

視察や研修会で得たことをもとに、高野地域の支え合いマップづくりを実施し、普段からのおたがいさまの関係の中で、緊急時、災害時の連絡や支援が迅速に出来るよう取り組んでいきます。

まだ、始まったばかりの取り組みですが、社協はこれからも地域のみなさん（自治振興区さん）と協働し、だれもが助け上手、助けられ上手になり、安心して暮らせる地域での支えあいの輪が広がっていくよう取りくんでいきます。

……社協コメント……



広告



一人で悩まないで
まず相談してください。

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

検索

広島北部司法事務所

(訴訟代理権認定第524014号) (司法書士登録番号828号)

〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナシユB2階 TEL0824-72-2315(要予約)

学生の皆さんへ

専門学校や短大・大学へ通う学生の皆さん、社会福祉協議会でボランティア活動をしてみませんか？

ご希望の方は、庄原社会福祉協議会へご連絡ください。